京城新聞　第百卅二號　明治四十一年十二月十一日（金曜日）（一）

京城新聞

●後藤總裁の抱負

鐵道院の事業方針に關し後藤總裁語て曰く今回の官制改正並に吏員淘汰に付き世間尙は不滿足の聲を聞く、勿論余と雖も之を以て滿足するものにあらざるが鐵道の如き日夜運轉休まざる事業に於て其業務に支障を來たさざる間に改革を企てんとするものなれば一擧して其理想を遂行し難きは已むを得ざる所たるのみならず又新たに人を用ひんとするも今日の所現に充用せるものに比して以上の適任者を得るは極て困難なり要するに新官制の實施と人員の淘汰とは今回改革の一部面に過ぎず恰も數年越しの大掃除を行ひ家財道具を夫れ〳〵編付けたりと云ふに過ぎざるのみ而して實際上改革[illegible]今後の業務運用に最も力を注ぐ決心にして差向き管理局長と各部長の權限調和を圖り好慣例を作るが如き又は遠大の考案を以て職員の養成訓練を計るが如き其の他從來兎角輕視れたる調査所を活用するが如き要するに諸機關の連鎖を圓滿にし其運動を敏活ならしめ且つ一般吏員をして事務精勵の風を馴致することに努力するの決心なり而して自ら其衝に當らんとするには到底遞信大臣として何人も能くし能はざる所なるべし是即ち今回鐵道院を獨立機關となしたる所以なり云々

●大邱養蠶傳習所

大邱養蠶傳習所は東門外にあり去三十七年以來大邱の實業家李鍾國徐相敦外數名の共同により專ら韓人の手を以て經營し來りしが昨年前記李鍾國徐相敦と長野縣人篠原今藏氏との三人の共同經營となし農商工部より昨年度に於て五百圓、本年は一千五百圓の補助を與へたり本年は篠原氏監督の下に農商工部より指定敎師德島縣人小賀野治造氏を派遣し生徒希望者六十名の內より名を選拔收容し食費を給し二ヶ年を以て卒業とす蠶室二棟附屬桑園五町步餘四月中旬より開始し春蠶三十五匁、夏蠶十匁、秋蠶十匁を飼育し九月末を以て修業證書を授與して閉所したり傳習は桑の栽培より實習に移り給桑を行はしめ餘暇を以て學理を授く生徒の成績は摘桑其他雨天に際する準備行動に敏活を缺ぎ實習よりも學理研究を喜ぶの風あり生徒の三分は將來養蠶に從事せんことを希望し五分は敎師たらん事を希望し二分は單に日本語を習得せんが爲め來れるものなりといふ傳習所開設以來の卒業者四十餘名本年は農商工部より坐繰十七臺を下附されたるを以て修業生中成績優等のものに其七台を給與して奬勵せり由來韓國は降雨少なく土地乾燥し濕氣なきを以て繭の取扱ひ安全にして糸の成績宜しく品質も內地產と異ならず本傳習所は萬事模範的に經營せるが故に比較的多額の經費を要し政府の補助金を得て纔かに收支相償ひつゝあるが他に個人にて養蠶に從事せる四戸の日本人は何れも相當の利益を收め居れりと

文苑

●破窓閑話　むら

○僕は斯く思ふ。

○韓國側各部で時々地方駐派官吏の中央召集を行つて、意見の聽取やら、交換やら、疏通やらを行ひつゝあるは最も良き事で、又當然斯くあらねばならぬ事であるから、敢て褒める筋もないが、勿論惡口を云ふ筋はない。

○而して其期間滿了後、必ず財務官招宴が催さるゝ、之れ迄も世間並のことで惡く云ふべき筋はないが、已耳ならず、當局にありては最も必要である、幼稚なる訓示演說の[illegible]

○併し夫れが必ず淸華亭にて行はるゝことは確かに惡口を申上げる價値がある。

○盧山に入りて盧山を見ずで、淸華亭が何うして然る會合の場所として適當でないかは御本人達にはた判りになるまいが、沈淪亭の異名嘖々たるものあるにても察しらるゝ、又或人の如きは自己の品行を保持する上に於て必要なれば此の亭で催さるゝも斷じて出席せぬと公言しつゝあるに見ても明瞭ではあるまいか。

○茲には一寸思ひ出たもののみを擧ぐるが、道書記官選のも、普通學校長選のも、又今回の技術官選のも、皆此の亭にて行はれた、前二者は朱君の名によりて、後者は名譽ある名夫人を有するに於て有名なる趙農相の名によりて。

○依つて以て二君の品性の程も思ひやらるゝ。

○道書記官の如き壽傑運、言ひ換へれば或る意味に於ける墮落生活に慣れたる方々には或は敢て忌避すべきでもあるまいが、他の二者の如きに至つては、僅かに其名譽を保有する上に於て忌避すべきであらう。夫れも他に適當なる集會所がないのならば兎に角、日本人俱樂部や、巴城館の如き、比較的高潔なる會場を選擇するの自由を有する現今の京城に於て、特に淸華亭を選ぶと云ふは善くないことである。

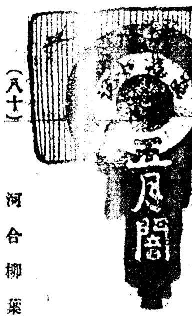
○依つて以て二君の品性の程を知ることが出來る。

○若し夫れ淸華亭の料理が甘味いからだと言はゞ、夫れこそ賓客に更に一層の侮辱を與ふるものと言はねばならぬ。

○僕は斯く思ふ、而して更に斯く信ずる。

●東雲感　池水生

いゝいゝいゝ、春夢破來夜雞成一片殘月斷雲横ざは某日の排隱旅館樓上に於ての所感なりき見渡す限り夜色は靜かにかへつて、一塵の風もなく大地は幽寂までも凝るかとしみ渡る東雲に聞ゆるは纔かに犬、大廝が霜柱ご氷を踏み碎き耳を垂れ尾を搖かし我が前に來りしき豆腐商の[illegible]わたりに反響して、暖き下女の眠は覺され、いゝいゝ一夜復人間、雨戸を開ける音、障子を打拂ふ音、男女の笑聲はては新聞配達、郵便投入、右往左往の車の音のみして忽ち修羅の巷とは變したり佛蘭西會堂の鐘の音をあいづに起き我々として營を爲さんと勉むるものは伊公が舞か乃公か否乃公近頃甚だサイバツテ胃の腑の問題に苦心せり思ふに世間の大半は此問題の爲盟より爽に移る五十年間を忙殺するものなるか



（八十）　河合柳葉



大山は喜々と打笑ひ

「蓿川さんには餘所の宅では見られない、それは〳〵美しい菊をお持ちでございますから、どう思ひ會しても私共の菊は競べ物にはならないのでございます。」

君子は感じ入つた樣子で、

「へゑ、那樣美しいのがございますか、さぞ奇麗な事でございませうね。」

と、菊野を眺めて云ふ。

「どうでございますか、私は能く存じませんけれど、樣那美しい花は無いでございませう……。」

大山は興ありげな眼色で、

「菊野さんは、御存じないのでございませうけれど私などは三年ばかり以前から羨ましく思ふて居ります、菊野と云ふ花をお持ちになつて居るです。」

君子が氣が注いて始て笑へば、菊野も氣が注いて極惡さうに微笑むのであつた、

「左に右、庭園と云ふ程の庭園ではございませんが、御案內申しますゆゑ、御覽を願ひたうございます。」

「では、御庭園なり菊畑なり拜見さして頂きませうね菊野さん。」

「はい、お供申しますでございます。」

かくて大山が案內にて、君子は菊野と共に跡鼻緒の草履を穿つて庭園に出た、うして數寄を凝した庭園を隈なく步むで、趣に富むだ庭石や、泉水の工合から、庭樹などを眺つゝ、[illegible]間、風流に建築した茶寮を中に、種々の菊花は色を爭ひ、香を競ふて、陶然と花に醉ふばかりである茶寮はガラリと開け放たれて、爐には櫻炭がカッと起してあり、釜には[illegible]

「お疲れなさいましたでございませう、どうぞ此方で御休憩を願ひまする。」

と、大山が茶寮に導けば、君子も菊野も共に坐に着いて、坐に庭の菊花を眺むるのであつた、君子は如何にも滿足さうな態で、

「まあ、此の宜い匂のする事は如何でせう全然菊の花を嗅いでるよりも匂が高いぢやございませんか。」

「異個御坐敷中に、香が籠めてゐるやうでございます。」

と、菊野も賞める、大山は滿足さうに、自慢の茶事を始て、式作法正しく薄茶を進むれば兩人共程能く頂戴する、やがて茶事が了ると君子は、思ひ出したやうに、

「誠に無作法でございますが、些と厠を拜借致したう存じます。」

「はい、御案の[illegible]でございまするが、どうぞ此方へお越しを願ひます。」

大山は起つて案內せんとする、君子は菊野に對つて、

「では、暫時失禮致します、どうぞ此方でお待ち下さいまし。」

會釋して立上つたが、大山は本宅の方へと導くのであつた、君子は敢て厠に行くの必要は無かつたのであるが、大山が菊野を連れて菊觀にと云つたのは、何か爲すべき策のあるであらうと、有繫は寡婦だけあつて、早くも氣轉を利かして厠と云ふに托けて座を外したのであつた。大山も大概然うであらうと察して、態と茶寮の間に案內せず、本宅の間へ伴ひたのである。

▲下宿開業▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿開業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸橫小路（元花屋跡）

かめ屋

辯護士　岩田仙宗

明治町二丁目　電話三五四番

廣告

新荷着

和洋ストーブ各種

石炭用　石油用　木炭用

硝子器　洋燈類商

京城本町三丁目

林豐商店

改良品

卷莨



京城

廣江商會

電話五七六番

木炭

卸　小賣

諸官衙御用達

京城長谷川町一丁目

小島商店

（電話架設中）

新製刻莨

薩摩富士

大賣出し御披露として本月中は特に明治町聯合賣景出し品引替券四十目入一袋毎に一枚を進呈す

各國人力車卸　用蠟燭商

明治町一丁目

ま商會

流行の新柄あり地帯あげ肩掛新調其他種々
京城明治町一丁目
丸ゐ三徳商店

●韓京覺帳(第二)

發端 水浪生

●記者は我帝國の過剩人口を海外に移住せしめ我人口問題の幾分かを解決し延て我移民を基礎とせる海外貿易の發展を圖り度ものと過去二十年間微力を盡したるものに候

●海外に於ける邦人移住事業は恰も砂上に樓閣を建てたるが如く着手後數年間は何れの場所に於ても斃へざるに齊すと雖も稍根底堅まり、機運からと云ふ場合となれば土地の政府人民より我移住者を受け何れも悲慘の最後を遂ぐるに至り候。

●南洋に於て然り北米に於て然り南米に於て然らざる[illegible]近時南米チリに邦人[illegible]時は數年間にて墜ては面白からざる運命に陥るものと被信候、アフリカに對する邦人移住の事の如きは一時計畫せられたるも遂に夢と化して相消申候。

●邦人海外移住事業の振はざること斯の如し而して其罪何人にあるか、否、移民自身の惡しき爲か、否、外務省の惡しきか、否、記者の見を以てすれば其罪乃ち我國力の不足にあり、斯觀じ來れば我過剩人口を濠洲南洋に移さんとするは現世紀に於ては到底不可能の事なり、統に於てか我帝國は過剩人口を如何にせんかの難問題に逢着致候。

●韓半島は遠き古より我移住地なり、明治の世となりて新たに移住せし同胞其數十萬を越ゆ而して移住事業の繁榮は他の海外移住地の比にあらざるなり、記者にして此好移住地を忘れ西洋や南洋やに砂上樓閣を築き居たるは實に我愚の極なりしを今に於て恐知り候。

●三十八年中記者南米より歸り東都に起臥せる頃韓半島は我保護國となれり、越ゑて三十九年一月統監府創設せられ我先輩某氏國府に職を奉ず、某氏記者に説くに半島の好移民地なるを以てす、余また惟らく我移民は世界の到る處に排斥せらる、幸に韓は我保護國となる、某氏の言ふ所余の望む所韓なるかな韓なるかな若かず半島に渡つて實狀を視察せんにはと。

●三十九年一月二十七日先輩某氏任に就かんが爲東京を發す、記者は同氏を送つて大阪に到り丁度其時開かれたる中の島公會堂に於ける鶴原定吉氏の送別會に臨み翌三十日某氏に別れて西京に到る。

●京都に來れるは阿彌陀峯上豐公の廟に詣でんが爲なり、此日大雪降る、記者は飛雪を冒し豐國神社に神官を訪ね同人の案内を受け從者一人と共に登臨し雪中廟前に額つき神官をして祭文を朗讀せしめ、自分は一心に祈願を爲せり[illegible]臨賀血を起し失神して作るの[illegible]豐太公の靈に祈願せし[illegible]

[illegible]に對する公の遺業の伊藤統監に因つて成就せられんことを[illegible]嗚呼韓か日本[illegible]にして此統監を[illegible]のあるべき[illegible]する能はざるなり。

東京電報

▲香港暴徒の處刑

香港排貨事件に就き暴徒の受刑者如左 重禁錮六月四名、同三月三十三名、同二週間乃至六週間[illegible]名、二十弗乃至五十弗[illegible]

▲日米協約祝賀會

日本貿易協會にては二十日米國協約祝賀會を開き米國外相[illegible]

▲東拓總裁の發表

宇佐川軍務局長は十五日東洋拓殖會社總裁に任じ後任は長岡少將と同日に發表さる(十日發)

桑港電報

▲ス氏殺害者逃亡

去三月スチーブンス氏を狙撃の際過ちて共謀者より重傷を受けたる韓人は病院に逃られ他一名と共に[illegible](十日發)

組報

●韓太子の避寒

韓國皇太子殿下には[illegible]御學業に御差閊なき限り[illegible]掛け沼津葉山邊に[illegible]

●副統監の帶同

十日統監の帶同謁見[illegible]副統監代て[illegible]

●統監の艦隊員招待

十日正午日本人倶樂部に於て統監は練習艦隊阿蘇宗谷二艦乗組の將校三十名候補生百八十八名を招待し立食の饗應ありたり

●練習艦隊司令官の入城

伊地知海軍少將阿蘇宗谷艦長佐藤石井大佐は九日午後五時三十分仁川發列車にて入京巴城館に投宿せり

●艦隊員の上陸

十日午前七時二十分仁川發列車にて將校三十名候補生百八十名上京し入京諸員は午前中統監府員の案内にて[illegible]せり

●練習艦隊の宴會

伊地知司令官は十一日午後一時艦上に[illegible]日韓文武大官六十名を招待し又當日は宗谷艦に於て[illegible]案内狀を發し[illegible]を擧行し來賓[illegible]

●艦隊下士卒の入城

十日十二時五十五分仁川發列車にて艦隊[illegible]に屬する下士卒約一百名入城[illegible]

●長谷川大將歸城

上京中なりし長谷川軍司令官は八日午後六時三十分新橋を發せられたるが歸任は多分十二日頃ならんと聞く

なり又十一日午後十二時五十五分仁川發列車にて入京同しく景福宮其他を參觀すべし

●東拓役員の確定

大朝の報ずる所に依れば東洋拓殖本邦側理事は井上孝哉、林市藏、岩佐理藏三氏監事の松平直平、野田卯太郎兩氏たるべきは已に確定したるが韓國にて[illegible]理事役擇任に關し李總理宋内部の間に一大暗闘を惹起し李完用氏は趙鎭相龍氏を擧げて理事たらしめんとせるに對し宋秉畯氏は一進會派の觀察使にして宋の後援たる[illegible]氏を理事たらしめんと[illegible]双方奔走[illegible]に向つて[illegible]中の飛躍を試みたるも李總理首尾好く此の目的を達したり韓相龍は年齒僅に二十有九才で要職に就かんとして我が國成城學校を出でたるも故ありて笈を投じて牙籌の人となり現に漢城銀行總支配役たり而して重望ある白完赫氏擇に洩れ京城商業會議所會頭趙沈泰氏[illegible]擇任せられたりと

●(ヘチン)博士歡迎會

(ヘチン)博士來韓の由は既報の如くなるが目下[illegible]倶樂部に於て歡迎會を[illegible]本人倶樂部に博士歡迎會を開催する筈なり

頂哲部忠承の[illegible]氏發起となり[illegible]

凞路宏、井上雅二、道家充之、熊谷頼太郎、三[illegible]

●第一銀行拾圓券の發行

第一銀行は嚢に一圓の新券を發行したるが明年一月四日より十圓の新券を發行することゝせり該新券の見本を一覽するに表面は橙黄色にて右方に昌德宮内秘苑の宙合樓の寫眞を現はし左方には櫻花に韓國李章を連結せるスカシさなり裏面は唐草模樣を現はせり而して該券見本は度支部及び内部に托し各財務監督局財務署各金融機關各道其の他の地方官廳に配付する筈なり

●全國各宮殿の整理

京城及び全國の各地に存在する諸宮殿が國有に移屬せられたる結果此れが整理をなす必要上右の宮殿に奉祀せる歷代諸王の像は總べて昌德宮内なる濬源殿に奉移さるゝ事となり既に其の大部分は同殿に納祀されたるが此れと共に其の宮殿に使役したる役員の大部分も解雇せられ此れに對する給與は本年内に約十二三萬圓を支出し尚殘部は來年處分を終る筈にて十餘萬圓の支出を要する筈なりと云ふ

●對清交涉開始期

久しく日清兩國間に懸案となり居れる間島問題、新法線問題其他に付きては伊集院公使着任後直に交渉を開始する筈なりしが今日迄依然たる理由は兩宮崩御の爲めに暫らく延期となりしも北京政界は其後異狀なく殆んど靜謐に歸したれば今後時機を見て交渉を開始すべしと云ふ

●農蠶技術官會議(第四日)

九日は午後四時迄に諮問事項及び本部提出の協議事項の審議を終り四時より技術官提出の問題に就き六名宛四組の委員を定めて各委員會五時迄諸問題を審議し昨日も午前十時開會午前中は前日に引續き委員會とし午後本會議に於て討議を終へ散會したるが本會議は茲に本日を以て終了各技術官は明日より夫れ〳〵任地に歸向す尚既報の外技術官提出の問題は左の如し

一、桑苗配付の希望の件
二、蠶種配付の希望の件
三、小麥良種配付の件
四、各道に農林講習所設置の希望の件
五、各道に模範灌水工事及び模範溜池を政府事業若くは補助により設置奬勵せられんことを希望の件
[illegible]

藥園希望の件
七、各道に水車、木綿織機購入配付希望の件
八、北韓地方に數箇所の作蠶模範大飼育を實施せられんことを希望の件
以上 花井技師提出

一、適當なる場所に農産品評會開設の件
豐永技師提出

一、集會苗代設置奬勵の件
二、秋耕奬勵の件
三、農家婦人に勸誘すべき仕事の種類如何
以上 向坂技師提出

●山林に關する諸願

本年七月以降農商工部山林局受理の願件及び種類は左の如し

(一)部分林設定願六十八件内日本人三十一件韓人三十七件(二)土地貸下願五十四件内日本人二十件韓人三十四件(三)主産物拂下願五十三件内日本人三十三件韓人二十件清國人一件(四)副産物拂下願六十三件内日本人四十四件韓人十八件(五)森林山野讓與願三件全部韓人(六)土地拂下願九件内日本人三件韓人六件(七)地籍報告百十一件内日本人三件韓人百〇八件

右の内處分を與へられたるもの左の如し

甲、許可處分

(一)土地貸下願十八件内日本人十七件韓人一件(二)主産物拂下願三件内日本人一件韓人二件

乙、不許可處分

(一)部分林設定願五件全部日本人(二)主産物拂下願十一件内日本人十件韓人一件(三)副産物拂下願七件内日本人一件韓人六件

丙、却下處分

(一)部分林設定願九件全部韓人(二)主産物拂下願七件日韓人各一人(三)副産物拂下願七件内日本人五件韓人二件(四)土地貸付願三件全部韓人(五)讓與願二件同

●清國の電線延長

新年の豫期を經過したる後一條の電信線路を開始するの案は可決せられたり即ち其一は四川より打箭爐に至り其處より察當巴當を經て西藏の拉薩に至るもの其二は新彊の綏來縣より阿爾泰山に至るものにして其間に十六の電信局を新に設置するものなり此二線の長は六千乃至七千清里なるべく約百五十萬兩の費用を要すべし此額の一半は郵傳部より他の一半は度支部より給せらるべく其工事の開始する筈なりしが、該兩線の架設は同時に着手さるべく四川新疆の商官は其架設に要する材料か皆該地方に於て得らるべきや否やに付て郵傳部に報告すべき訓令を受けたりと云ふ

●對淸貿易貨物の檢査

淸國市場の將來は日獨兩國品の競爭地たるべきは識者の齊しく認むる所なるが新に歸朝したる根津上海同文會長は此の事に就き更に例をひき痛論する所ありたり粗製若くは濫造の譏りを免れんには百の説法を行ふよりは完全なる組織の下に輸出品に對する嚴格なる檢査を行ふ事の寧ろ手つ取り早くして効果顯著たるべしとなし大阪に於ける染織物、組編物、絹絲、綿絲、燐寸、玻璃器、陶磁器、製藥賣藥、家具及び裝飾品、金屬製品、器械類雜貨、綿布其の他の貿易業者約三百餘名は今回新組合を組織し大に善良なる商慣習を養成し海外需要者に對する同業者の信用を向上せしめんとて去四日發起人會を開き定款を討議修正し昨七日を以て大阪府[illegible]

三井物産同支店春元、谷、樋口、八木、岡島、井上及び井上淺商店等發起人は三十餘名なるが倚主務省との交渉委員として渡邊和吉氏は來十二日上京の筈なるが同組合は唯に淸國のみに限らず歐米其他一切の對淸貿易業者を包括するものなり尤も韓國貿易者のみは別に最に朝鮮貿易同業組合の設立を見たるが故に之を除外せりと云ふ

●韓國に於ける拓殖株

東洋拓殖株式會社株式申込は[illegible]既報の如く韓人五萬九千七百六十七株日本人二萬七千八百十三株合計八萬七千五百八十株にして此の内皇室よりの申込二千株は優先株として取扱はるゝを以て殘部八萬五千五百八十株の千分の二十八即ち韓人千六百十七株日本人七百七十八株合計二千三百九十五株を引受くる計算にして結局韓國に於ける同會社株の持數は四千三百九十五株となると

●財務經過報告の編纂

度支部統計課に於て韓國財務經過報告は編纂中なりしが今回愈々終了し不日印刷に付する事となれり内容は本年度上半期に於ける財務の經過を記述したるものにして約五百頁の大冊なり

●仁川大豆鑑定價格

仁川稅關の大豆鑑定價格が目下の市價より約一圓方高價なるを以て仁川輸出高は仁川商業會議所を經て仁川稅關に對し價格引下を交渉する所ありたるが其後仁川稅關にては穀物協會等に就き稍々査研究せしが市價に比して鑑定價格の高きは事實なるを以て同稅關は近く關稅局に交渉したる上右價格の引下を斷行すべしといふ

●農産技術官會議

昨日午後四時より統監邸に於て農産技術官會議ありたるが統監には一場の演説を試みられたり

●宮内大臣の僞印を拾得

宮内府衛道上に於て去る二日宮内府大臣章外百三個の僞印を憲兵拾得せしが寶印に擬りなき[illegible]立派なるものなりしと 楊州

●民長代理の練習艦訪問

仁川民團臨時民長代理横山助役は昨日午後二時碇泊中の練習艦隊を訪問したり

●有志會委員の會見

仁川有志會委員の加來、須原、桑野、田中、稻田の五氏は昨紙所報の如く昨日午後三時より仁川倶樂部に於いて岡通信部長と會見する所ありたるが其の詳細は次號に報導する事とすべし

●大韓毎日發賣禁止

本日發行の大韓毎日申報は治安を妨害するものと認められ内部大臣より其の發賣頒布を禁止されたり

●十一月中仁川出入船客

十一月中仁川出入船客數は左の如し

	出	入		出	入
神戸	三一	二一	大連	一三三	一一四
下關	二一六	二四七	太沽	九	三
門司	四二一	四二二	芝罘	二四〇	二一九
長崎	一四五	二〇〇	其他	四	九
對州	[illegible]	[illegible]			
木浦	二五六	二〇四			
群山	二六八	二六九			
鎭南浦	三二	三二			
[illegible]	[illegible]	[illegible]			

合計出客千二百六十六人 入客千三百九十九人なり

●暴徒討伐彙報

全羅北道長水分遣所憲兵二補助員三は巡査二と共に五日長水北方約四里の地に於て賊約六十を討ち其十二を殪し銃三刀二其他雜品を鹵獲す△慶尚北道英陽分遣所憲兵一補助員二は十一月二十三日英陽の西方約三里の地に於て數名の賊と衝突し銃二其他雜品を鹵獲す△同分遣所憲兵・補助員二は十一月二十五日尖衛部内に於て約十名の賊を討ち銃二を鹵獲す△忠淸南道扶餘分遣所憲兵一補助員二は十一月二十四日扶餘の東北三里の地に於て賊五と衝突し銃一、刀一を鹵獲す△忠淸北道永春分遣所憲兵二補助員三は十一月二十九日永春の東方四里の地に於て賊五と衝突し其二を殪し銃三刀一を鹵獲す△咸鏡南道洪原分遣所憲兵一補助員五は十二月六日洪原北方六里の地に於て員數不詳の賊と衝突し賊魁李明甫を捕へ銃二其他書類多數を鹵獲す補助員一名重傷を負ふ△全羅南道谷城分遣所憲兵二補助員四は巡査四と共に十一月二十四日谷城の東南約六里の地に於て賊約十五を討ち其五を殪し賊魁申正所及盧仁先を捕へ銃九火藥若干を鹵獲す

●賊魁を捕ふ

平安南道孟山郡陽德附近に跋扈出沒せし部下百餘名を有する賊魁申應は去る二日同地方憲兵の手に於て孟山にて逮捕せられたり

●兒玉伯爵の贈品

愛國婦人會幹事伯爵兒玉秀雄氏は艦隊下士卒に韓國の名所古蹟風俗の畫葉書千七百枚を贈與せり

●新聞記者團の忘年會

來る十二日午後五時より花月樓に於て在京城新聞記者及通信員の忘年會を開催するよし出席希望者は商業會議所内記者倶樂部當番幹事に申込むべしとの事なり

●遞信事務官出張

鐵道管理局遞信事務官[illegible]は東京に出張を命ぜられ九日出發せり

●吉林領事

過般赴任せる新任吉林領事岩崎三雄氏は林領事官補より事務の引繼を受け就任の旨通知ありたり

●藥師川憲兵少佐出發

藥師川京城分隊長は十日出發東上せり

●ヘデン博士

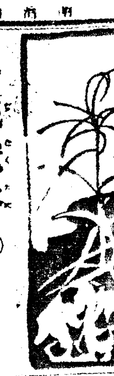
は十一日京都を發して十三日入城する筈なりと云ふ

公人私人

▲西平(海州地方裁判所長) 九日入城不知火旅館
▲齊木幹造(同所檢事長) 同上
▲佐伯喜六(平壤財務監督局主事) 九日入城仲野屋
▲久沿素則賢(統監府技師) 九日入城山本旅館
▲安田直七(海軍主計少監) 九日入城巴城館
▲新納司(海軍少佐) 同上
▲鈴木寬之助(海軍々醫少監) 同上
▲松本喜平(海軍機關中佐) 同上
▲下村延太(海軍大佐) 同上
▲佐藤鐵太郎(同) 同上
▲石井萬太郎(同) 同上
▲伊知地彦次郎(海軍少將) 同上

●近事片々

▲近頃●● 宋内相の邸宅には所謂模擬政客なる者の出入頻繁なりと聞く果して然るにや
▲集る●● 所の政客は宮中の勸解民團政客の勸解を探りて報告する也とは果して事實乎
▲宋氏●● 亦之を一々統監に報告するとの風說なるが兹宋氏一番働きを見せる積か
▲或說●● には暴徒鎭壓策に就て統監に意見[illegible]等の意見を提出しつゝあるは事實らしき[illegible]宋氏か統監に膝々接近し[illegible]を提供したる也とも云ふ何だか更に不明也
▲發言●● したる地方巡視もなさず唯一進會員等の報告にて鎭定策は出來たるかウフ
▲一進●● 會の報告を土臺にして暴徒鎭撫の策を組み上げる杯はチト險呑千萬の次第也
▲宋氏●● 頻に智囊袋を絞りて統監公に接近するも信用は却て完用氏にありとは面黑し
▲兩人●● 間の交情か餘り密ならざるは何人も知る所現狀は何時迄維持せらるべきにや
▲若し●● 夫れ現閣を維持せんと欲せば兩人の内爭は極て非也一人啻ひ子になるはだめ
▲宋氏●● 一人啻ひ子になりて宋内閣を組織するが如き夢を見るは余り自惚も過ぐる也
▲統監●● くの間か見ものと政權病者の活動も今暫らくにて雲散霧消せん乎穴可笑しや
▲統監●● 公も良ひ加減に渠等の迷夢を醒まさせ早く往生觀念をせしめよ南無阿彌陀佛
▲救世●● 軍を以て韓國を扶る軍隊と思ふ韓人等もありとは滑稽救世軍の迷惑察すべし
▲色目●● 鏡を掛けたる韓人には西洋人と見れば何でも日本反對者と見るのか頗る滑稽
▲此評●● 判の立ちたる爲に救世軍は非常に迷惑を感じつゝありと實に迷惑千萬の話也
▲米人●● 某氏彩票會社設置せるの說あるも事實ならば之れ大に問題となるべき者なり
▲外國●● 人に許可するならば邦人にも許可すべき當局者は深く考ふる所なかる可らず
▲風說●● には此裏面に[illegible]は[illegible]とか云ふ果して然らば不都合千万の次第也



實話 地獄谷（五） かへで

人の境遇は、人の自ら定めるものじやない、否、實際人自身が定めやうとしても、定め得べきものじやない、社會の左右に一任せねばならぬものですれば、彼の醜婦の憐むべき運命に飜弄されて居るのも、決して醜婦自身が惡いのじやない、全く社會が惡いのだ、現代の社會組織は、凡ての人を凡て[illegible]やうとして居る、凡てのものを[illegible]

[illegible]に力の弱い女の悲として無理はない、醜婦が惡いのぢやない、社會が惡いのだ、と思ふと益に彼の醜婦に逢つて見度くなる、逢つて種々とその身上に纏まる事情を聞いても見度くなる、而して出來ることならば救ひ出して遣りたいとも思はれる、和田は、斯ふ思ふと理想に生きよう主義に作れよと幽なる響に、胸を打たれるやうな氣もするのである。

[illegible]突然に田宮が後方から、和田の肩を叩くと、和田は吃驚した顏を向けて、

「和田君、何をそんなに考へ込んで居るの」

「ア、田宮君か、吃驚したよ」

「だつて、朝つぱらから腐鹿に茫然して居るから、一つ驚かして遣つたのさ」

「酷いな、今朝は何んだか頭の具合が惡いので、困つて居るのだ」

「左様か、夫は困るだらう、そう〲茲に清心丹があるから、呑んで見給へ」

和田が、田宮から貰つて清心丹を口にして椅子を離れて、ストーブの前に立つた時、東方の入口から、ドヤ〲と社員が這入つて來た、モー九時二十分である。

●毒婦たきくの素性

……不貞不倫の數々を重ね……諸所を喰ひ詰む……

きくが仇し男と吾が夫ならぬ褄重ねをなし居ることをいつしか耳にしたる夫鐵次郎は今更の如くきくの心底に呆れ果て斯らいふ不貞の女を女房にしたもツマリは吾が身の誤りからと痛く後悔せしも後の祭り併し幸な子供も[illegible]き仲なればイッソ今の中に奇麗薩張と手を切るが行末の爲めよかるべしとある日きくに向つて別れ話しを持ち出したるに莫連者のきくは一本の三下り半では承知出來ずとなし男の弱味に附け入りて無法にも二百圓の手切金を請求せしがもと[illegible]職人[illegible]二百圓の金はおろか餘分の金さては[illegible]文もわらう筈なく男によ[illegible]一筋縄では行かぬ哩[illegible]素何[illegible]其の後[illegible]男はきくを誘ひ[illegible]

物に趁き二三日の中は夫婦連れ立ちさも仲睦ましさうに見物遊山に耽り居たる中或る時男は一寸其所迄用達に行くからと稱して出て行きしまゝ歸り來らず三日と經ち四日五日六日と過ぎしも一向に何の音沙汰さへなきよりきくは一杯嵌められたりと口惜しがる中にも何うやら不審に思ひ早速橫濱に取つて返へして男の家財道具を取り調べたる所金目のものとては何一つなく且つ男の衣類さへあらざるより扨はいよ〲以て自分を振り捨てゝ何れへか姿を晦したるに相違なしと思ひ諦めては何の詮術なくソレもとく未練のなき男なれば却つて之を好い機に浮氣の仕放題を爲さんと再び鬼に乘り込み土地の口入屋の世話にてある料理屋に前借三十圓にて[illegible]住み込み[illegible]れ來る嫖客を手玉に取り居りしが餘りに思ふやうな好き儲けもなきより一ヶ月許りにして同家を逃亡し又々橫濱に舞ひ戻りて空しく日を送り居る中某盤屋の職人をアジな仲になり終には夫婦の縁を結びて世帶を持つこととなりたるが其の男といふが人並勝れての浮氣者にて月日の經つにつれてきくの色香に飽きが差し料理屋遊びにのみ耽り居るより[illegible]は嫉妬の念[illegible]てある日[illegible]畫計をなす試み[illegible]たるは明日の紙上に（つゞく）「昨紙以前の[illegible]村と[illegible]次郎に[illegible]とあるは誤りにつき爰に訂正す」

●役人の醉狂

……巡査を毆る……

趙農相の君には一昨夜部下百餘名の者を料亭清華亭に招き忘年の宴を張られたるが今日許りは上官下官の別なき無禮講にて給仕に[illegible]藝妓打ち寛ろぎて遠慮なく飲めや唄へとの難有御諚に部下一同のものは恐悅此の上なく折角の御言葉遠慮は却て無禮の原と諸共何れも打ち寛ぎ山海の珍味に舌鼓打ち中には斗升の量を傾けしものも少なからざりしが軈て酒三行を過ぎ玉山將に崩れんとする頃趙大臣には起つて一場の演說を爲し了りに官吏としての躰面上歸途は特に注意せられよとの言葉を添へ一同萬歲を三唱して十一時頃散會したるが中に同部技手の某といふが非常に酩酊し醉步蹣跚一步は高く一步は低く竹洞巡査派出所の前迄來掛るや某は見張の巡査の手をばムンヅと掴み「俺れは非常に醉つて居るから車を雇つて吳れ」と言ふにぞ巡査は酩酊のことゝて別に咎めも立てずスカして家に歸らしめんとせしに某は何と思つてか亂暴にも突然巡査の橫面を毆りたるより巡査は非常に立腹し其の場より引き立てゝ銅峴分署に連れ行きたるに某は又もや狂ひ始めたるより同署にては持て餘し早速農商工部へ電話を以て通知し宿直員を呼び出し巡査に暴行を加へしことなど[illegible]まで某は好かんと醉が醒むるにつれ[illegible]厄介な役人共もあつたもの哉

●蓼喰ふ虫も好き〲

……親不孝の娘……

蓼喰ふ虫も好き〲の世の中とはいへこれはまた提灯に釣鐘どころの咄しでなく可惜蕾の花の身を親父のやうな男に委せ果て親も兄弟も打ち忘れ現を拔かせる不孝者こそあり生れは山口縣熊毛郡近藤ツヽミ（二十）といふは何不自由なき家に生れ所親はいづれ年頃にもならば好き婿がねを貰ひて初孫の顏見たしと思ふ心も仇なれやミツは早くより春を知り忍ぶ文字摺亂れ初めたる乙女心は終には親にも明かせぬ始末となり昨年の暮無斷にて家出し諸所方々うろつき回り本年十月大塚[illegible]（四十）といふ[illegible]旭町一丁目邊に一戸を構へ面白く可笑しく暮し居りしが此の事いつしか國元にある親の耳に入りたるより父は早速手紙と共に金を送り之を路金として歸り來るやう親は明け暮れ心配しツナの身の上を案じ居る程にと言葉優しく言ひ寄越したるもミツは[illegible]少しも歸國する心なくタトヒ親が何んといふと可愛い男を振り棄てゝ今更ら國元へ歸られやうかと右の金をば男に注ぎ込み乳繰り合つて暮し居るとは何處迄も不孝の娘といふべし

●狂歌 放多良歌誌（五） 釜硯坊

▲淵田實雄君（八日店員評判記參照）
●●● 結お酌雄の名に背かざる[illegible]

▲大塚校長君（八日平民文庫參照）
●●● 撓なすば身に幸福も大塚の松の榮わさ家も富みなん

▲山櫻といふ卷莨は柔らかくて咽當りがよい一箱七十錢値も廉い（日本男子）
●●● 「山櫻是れは〲と斗りにて世人が競ふて買ふ卷烟草」

▲資紙三面の店員評判記はナカ〲面白いが少しは短所も出し給へ（何社員）
●●● 「吐出すたん所不潔で臭ひ故底で謡する記者の御遠慮」

●船乘業者の大格鬪

一昨夜仁川宮町派出所に一人の男驅け込み屆け出づるやう只今濱町一丁目で漁夫体の男四五人入り亂れて格鬪して居りますと注進に及びたれば同所詰の巡査は驚破一大事と直に同町に出張し各所を取り調べたる所果たせるかな同町一丁目松尾建市（三）方にて同人を始め數名のもの組んづ組まれつ上を下への大騷動[illegible]直[illegible]方を引分け原因を取調べたるに熊本縣[illegible]船乘業[illegible]川島[illegible]同縣生[illegible]松本慶太郎[illegible]及び廣島縣生れ今井原太郎[illegible]の四名が飲酒し[illegible]て互に言葉が荒くなり遂に建市の言ひたる言が癪に障ると鹿藏が憤り出して爭論の果て大騷動を始めたる事實判明したれば出張せる警官は說諭を加へて引き取らしめぬ

●貧から無情

西部翰林洞吳大泳（三二）といふは先頃世話するものありて附近に住む李姓女（二二）といふ婦人を嫁に貰ひ受けしが其の嫁の實家といふが非常の貧窮にて三度の食事さへも覺束なき有樣從つて彼に遇れる母（五一）は其の日〲の暮し向きにも差し支へ時々娘の家に來りてはヤレ金よ食べ物よと無心を言ふより娘は其の度毎に「れ母さん肩身が狹いから今日限り來ては困ります私は後生ですから……」と哀願すれど[illegible]〲騷り果て昨今にては婿さへも愛想を盡かし母を拒絕し居りしが母は背に腹は替へられず二三日前娘をば南部會洞權寧璣方へ賣り飛ばしたるより吳は非常に立腹し一昨日西部警察署へ訴へ出でたるより警察署にては母を呼び出し懇々其の不心得を諭し娘をば取り戾さしめたりと

●妻に淫賣を勸む

西小門內卜洞安顯金（三七）の妻安姓女（二七）といふは家の困窮なる所から近頃夫が頻りに淫を賣るべく勸むるを嫌ひ此の程無斷家出し北部[illegible]洞[illegible]李姓女なる伯母方に赴き身を潛め居りしを夫の發見する所となり安は一昨日同所に赴きて妻を取り押へたるが妻は何うしても夫の家に歸るのが厭だと橫に冠を振り何うしても夫の意に應ぜざるより安は已むなく西部警察に出頭し妻に向つて說諭を願ひ又々元の鞘に治まりたりとの事

●怪しき韓人

一昨日午後二時頃鍾[illegible]觀通りにて銃を肩にしたる韓人通行するより巡回の巡査之を取調べたるに言語曖昧なるより銅峴分署へ引致したるが此者は南部長朴春瑞と云ふものなり

●言葉が氣に喰はぬ

仁川花町二丁目西田駒一方に寄留する大阪生れ小峯弘（三五）と云ふは一昨夜同町三日月亭といふ飲食店に登樓し昨曉三時頃まで飲み續けたる揚句の果て酌娘の饒舌つた言葉が氣に喰はぬとか云て亂暴を働き居る際折好くも巡廻中の警官が認め有無を云はせず引致したり

●昨夜の新町

昨夜の新町に繰り込みたる客は八十九名にて費消高五百十一圓九十錢二厘なりと云ふ

●本町座今晩の語り物

同座本晩の語物は左の如し[illegible]の語物は忠僕直助、越前守助直の傳は丈の最も得意とする所[illegible]
（前夜の續き）[illegible] （南部入劍文覺）[illegible] 義士名[illegible] 「岡野金右衛門忠僕直助津田越前守」 扶桑軒愛瀬

●購買組合會の抽籤

南山町京城購買組合會の抽籤は昨日同事務所に於て新聞社員及び有志者多數立會の上公平に施行せり

廣告

農工債券發行公告

今般左記の條件及方法により農工債券發行致候に付最寄農工銀行本支店又は出張所に於て御引受被成下度候也

一、債券發行の總額
金十萬圓也 漢湖農工銀行
金十万圓也 平安農工銀行
金十万圓也 慶尙農工銀行
金五万圓也 全州農工銀行
金十万圓也 光州農工銀行
金十五万圓也 咸鏡農工銀行

二、債券面の金額 金十圓 金廿圓
三、債券發行價格 額面[illegible]
四、債券の形式 無記名利札付
五、債券發行年月日 隆熙二年十二月二十五日
六、[illegible]月廿五日より滿三ヶ年据置以後十個年內に隨時抽籤を以て償還す
七、利率 年百分の七
八、利子支拂方法及時期 利子は每年六月十二月の二回に其支拂の月までの分を支拂ふ但發行の當日より隆熙二年十二月三十一日までの利子は金二錢とし最近利子支拂月に之を支拂ひ元金償還の場合は月割を以て計算し元金と共に之を支拂ふ
九、元金支拂場所 何れの銀行の債券たるを問はず各農工銀行本支店に出張所に於て其元利を支拂ふ
十、支拂保證 政府に於て元利金支拂の保證を爲す
十一、債券取得者の資格 何國人と雖も取得することを得
十二、發行の方法及場所 債券の發行は前記の方法により何れの農工銀行に屬する債券にても左記各農工銀行本支店及出張所に於て現金引換に領收證を交付す
十三、本債券と引換の期日は新聞紙を以て公告す 本債券と引換の期日
十四、申込期間 隆熙二年十二月十二日より同年十二月二十五日正午まで
右公告候也
隆熙二年十二月九日

漢湖農工銀行
平安農工銀行
慶尙農工銀行
全州農工銀行
光州農工銀行
咸鏡農工銀行

債券發行場所左の通り

○京畿道	京城	株式會社漢湖農工銀行
	開城	同 開城支店
	太田	同 太田支店
○忠淸北道	忠州	同 忠州出張所
○忠淸南道	公州	同 公州出張所
○江原道	江景	同 公景支店
	春川	同 春川支店
○平安南道	平壤	株式會社平安農工銀行
○平安北道	鎭南浦	同 鎭南浦支店
○黃海道	寧邊	同 寧邊支店
	博川	同 博川支店
	海州	同 海州支店
○慶尙北道	沙利院	同 沙利院支店
○慶尙南道	尙州	株式會社慶尙農工銀行
	晉州	同 晉州支店
	馬山	同 馬山支店
○全羅北道	全州	株式會社全州農工銀行
	南原	同 南原出張所
○全羅南道	光州	株式會社光州農工銀行
	濟州	同 濟州島支店
	榮山浦	同 榮山浦支店
	綾州	同 綾州支店
○咸鏡南道	元山	株式會社咸鏡農工銀行
○咸鏡北道	咸興	同 咸興支店
	鏡城	同 鏡城支店
	會寧	同 會寧支店
	清津	同 清津出張所

憲兵隊本部電話番號
一七番 經理室用 夜間用
四〇九番 副官部用

購買組合抽籤披露
新聞社員及び有志者立會の上抽籤せし結果左の如し
一等 九五四 四八二
二等 二、五七六 五八一
三等 九四三 一、五四九 二、七一五 二、九三六 六五一 七三七
以下等外は事務所に掲示あり
總ての景品は事務所に於て引替可申候景品引替期限十二月十五日迄
京城南山町三丁目 京城購買組合會

[illegible]此際非常なる大勉強を以て
東京 出來合 洋服類各種
特に御婦人用コート インバニースは
弊店の特色とする處にして裁縫の親切なる事御誂ら品と變りなく廉價なるを以て至極經濟的且つ京都に於ける最新流行珍柄類百種
京城本町三丁目 田中洋服店

新發明 三德炬燵
本コタツの特色は其名稱の如く
第一 德用 僅かの炭火を以て長時間の溫熱を保つ故に最も德用なり
第二 安全 如何に轉倒せしむるも火氣の漏るゝ憂なし故に最も安全なり
第三 輕便 重量極めて輕きが故に最も便利なり
軟らかなる溫度の心地と三德の功用とを一度試用の上御高評あらんことを希ふ
賣捌所 明治町一丁目 田中蓬萊堂藥房

歲末歲始の贈答品
報知新聞社 細谷氏考案
新式 智慧合戰
實用新案登錄出願
一組箱入 定價十七錢 郵税四錢
此智慧合戰は西洋の將棋を更に工夫したもので、丁度日露の大戰爭が開かれこみ入つた方法で互に智慧を絞り勝負を爭ふ仕組で實戰の通りに面白い遊びです正月の娛樂としては眞に理想的の遊戲です。
◎附屬品 極色刷肖像牌王女王各二枚佾將士砲手各四枚步兵十六枚 枚の紙の上で繰大勤
安部磯雄先生 ◎附屬品◎珠二色刷各選手肖像牌十八打手專用十二投走者各野手專用各六
新案 ベースボール
實用新案登錄濟
一組箱入 定價二十錢 郵送料四錢
東京神田三河町一 博報堂 振替口座 一八三一五

開業御披露
待合 席貸 松の家
今回待合席貸を開業仕候に付ては、般諸事を改め御客の御注文に應ずべく候間御來觀被下度奉願上候敬白
壽町二丁目

梅毒、淋病、橫痃、疥生殖器、皮膚病專門
京城皮膚病梅毒院
南大門韓人朝市場裏第壹銀行舍宅橫通 米倉町 部官舍下角 度支

[illegible]GD インペリアル[illegible] 各種 京城代理店 [illegible] 西野商店 電話（五七一番）

▲無料紹介欄▼

人事部

●女子見習生募集　本町六丁目中村齒科醫院

●編物速成教授　本町六丁目六五〇番編物速成講習所

下女入用　望の者は本人來談あれ　氏名在處（一一六）

美術刺繍無料教授自午後六時至九時　永樂町三丁目二十一番戸ノ四　上田生（一二二）

二十歳位の店員五名身元保證人ある者雇入れたし　姓名在處（一一三）

●雇はれたし　年廿六西洋料理に熟練旅館料理店又は素人家にてもよし給料不望履歴書の通りあり　氏名在處（一一四）

店員入用　十五六才以上身体強健普通教育あり身元保證人を要す　龍山元町三　三並金物店（一二九）

小僧入用　十五六歳の者二名至急入用に付希望の方は本人直接來談あれ　本町三丁目四ヶ所洋服店（一二四）

物件部

古着　其他御不用品買受けたし　旭町一丁目骸買所（一一九）

貸間　旭町一丁目便利の場所にて六疊二間二階貸したし望の方は御來談被下度候　旭町二の六十六仁商會（一二二）

二階建新築家屋上六疊、四疊、下七疊半、二疊外臺所押入及廁あり建具一切完備用水に便なり家賃一ヶ月貳十參圓　明治町二丁目藤田合名會社（一三一）

ぬいもの　申込み　布德門前宮本（一三三）

廣告

開店披露

染地手拭太物製造販賣

（染手拭、印入手拭、蒸絞、品揃、御好ニ應ジ美麗ナル包紙ヲ無代ニテ進呈ス）

⊛坪屋足袋製造販賣（ミセ、ツバ、鳥手、綾、別製品）

關戸蚊帳株式會社特約店

羅紗、インバコート、服類販賣元

びんつけ石鹸、一手特約店

來ル十二月五日全部品揃致候開業賣出シハ十二月一日ヨリ京城京元價向フ卅一日マデ正價ノ一割引

明治町一丁目（元帝國一隣）

⊛桑原久藏商店　（電話四八三番）

龍山舊保通り　桑原支店　（電話百十二番）

無煙煉炭

●特色　火付善く火力耐久價格低廉

●用途　煖爐、竈、鐵、爐、竈用に適す

●居防德山海軍省煉炭所東隣　谷口無煙煉炭工場

京城特約店　京城南大門通　電話六〇三番　巴商會

韓國一手販賣　京城太平町二丁目　神田組

●繪葉書營業者に謹告●

年賀用繪葉書　各種荷着

韓國風景風俗繪葉書　各種取揃

金壹圓也御送附被候へ者見本取揃發送可仕候

京城本町四丁目　日の出商行

●繪葉書行商人數名募集望の御方至急御來談被下度候

●土耳古煙草直旬入大販賣●

本社ハトルコ最大貢製造會社ニシテ其製品ハ原料精選其風味ハ良好無比ナレバ夙ニ世界各國ニ最多ノ輸出ヲナシ好評ヲ以テ迎ヘラレツヽアリ卸小賣トモ廉價ニ販賣仕候

京城本町四丁目　ディー、コスノギリアス會社出張所

仁川港本町通　仁川代理店　顯原兄弟商會

歳暮大賣出し

美術半衿帶上　男女羽織紐帶締　御題模樣御衿地　同御吊沙地　肩掛、首卷　各新荷揃

平素の御愛顧に報いん爲め特に副景品として一等より三等迄の大福引券を金五十錢毎に一枚進呈致すべく候

一等　精白米　十俵
二等　清酒　一樽
三等　ビール　一箱

尤も福引は一月三日弊店に於て擧行仕候間當日景品券御持參御來店被下度候敬白

明治町聯合景品附大賣出しに加入せしは勿論なるも弊店は華客各位

明治町一丁目　⊛爲里德

▲轉宅荷物運搬

京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚ほ弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其賠償の責に任じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側

店主　有田夢太郎　有田運送店

聯合景品附大賣出し

御進物用　金口莨　上等葉卷莨　其他附屬品一切

十二月一日より末日迄歳末大賣出しとして大々的勉強可仕候間御引立の程伏て奉懇願候以上

京城本町壹丁目　トルコ煙草日希商會

▲京城産婆案内

內務省免許產婆　永樂町一丁目　伊集院　電話三五八

內務省免許產婆　京城旭町一丁目（民團役所横向）　岩永重乃　姙婦、產婦ニ限リマッサージノ依賴ニ應ズ　電話六九番取次

壽町三丁目　[illegible]

內務省免許產婆　京城南山町三丁目　堀越直子

大東醫院看護婦助產婦　京城永樂町二丁目　大島壽美　岡上君代

內務省免許產婆　壽町三丁目　脇川きく

明治二十五年內務省免許產婆　本町六丁目　田淵左姬

內務省免許產婆　南山町三丁目　杉原ハナ

宮內府免許產婆　京城南山町二丁目　原口都矢

內務省免許產婆　明治町一丁目四番地 電話取次所　岡宮龍子　電話七二番

移轉廣告

新築落成に付左の所へ移轉す

大和町軍司令部通　小川病院

今回尤も老練なる松岡繁太郎氏を聘し左之通り分擔治療に從事仕候

內科小兒科　院長　小川末五郎
產科及婦人科
眼科
外科　副院長　松岡繁太郎
花柳病科



新來日本品直輸入大販賣

京城支那領事館通　清韓洋行　電話四九四番

開業御披露

弊店儀客月廿八日より開業致候間改良を加へ殊に町事勉勵仕候間倍舊の御引立を以て御來遊の程伏て奉願上候

十二月

京城大和町一丁目　會席御料理　開花亭

純良牛乳　元祖　乳

京城大和町一丁目　平山牧塲　電話三十三番

石炭直輸入

京城旭町一丁目　島與商會出張所　取次（電話七四五番）

（ストーブ用は一俵以上配達可仕候）

天ぷら御料理

併辨當仕出し

尚御注文に應じ何時にても調理可致候

京城壽町三丁目　松金　電話六八六番



本町六丁目横丁上ル左　高等御下宿　國分旅館

土地家屋　金錢貸借　人事物件　雇人口入業　東屋　南大門通二丁目十三番戸

日本郵船株式會社　仁川出帆廣告

仁川海岸通　郡回漕會　電話三九番

貨物及船客取扱店　京城南大門通　巴商店　電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行　山東丸　十二月二十日後三時出
●大連行　高砂丸　十二月　日後一時出
●大連、芝罘、秦皇島行　山東丸　十二月　日前五時出
●大連行　酒田丸　十二月廿二日後一時出
●釜山仁川、浦鹽行　文神丸　十二月

注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ稅關波止場ヲ發ス

●新聞料　一枚金二錢　一ヶ月金四十錢　三ヶ月壹圓二十錢　六ヶ月金貳圓　郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料　五號活字十九字詰一行金二十錢　四號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城明治町　京城新報社